

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2021年2月5日
【四半期会計期間】	第99期第3四半期（自 2020年9月26日 至 2020年12月25日）
【会社名】	新内外綿株式会社
【英訳名】	SHINNAIGAI TEXTILE LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 社長執行役員 長門 秀高
【本店の所在の場所】	大阪府中央区備後町三丁目2番6号
【電話番号】	06（4705）3781（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 執行役員 業務部長 石田 仁紀
【最寄りの連絡場所】	大阪府中央区備後町三丁目2番6号
【電話番号】	06（4705）3781（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 執行役員 業務部長 石田 仁紀
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第98期 第3四半期 連結累計期間	第99期 第3四半期 連結累計期間	第98期
会計期間	自2019年3月26日 至2019年12月25日	自2020年3月26日 至2020年12月25日	自2019年3月26日 至2020年3月25日
売上高 (千円)	3,208,345	2,130,531	4,077,286
経常損失 () (千円)	38,640	183,443	78,526
親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純損失 () (千円)	30,563	183,229	213,786
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	21,781	203,172	198,316
純資産額 (千円)	2,717,000	2,307,924	2,540,428
総資産額 (千円)	4,300,580	3,900,023	4,157,986
1株当たり四半期 (当期) 純損失 () (円)	15.63	93.70	109.32
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期) 純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	63.0	59.0	60.9

回次	第98期 第3四半期 連結会計期間	第99期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自2019年9月26日 至2019年12月25日	自2020年9月26日 至2020年12月25日
1株当たり四半期純損失 () (円)	6.96	20.67

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期) 純利益については、1株当たり四半期 (当期) 純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ (当社及び当社の関係会社) が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続いているものの、各種施策による人の移動が活発化したこと等により観光業関連を中心に一時的には持ち直しの動きが見られました。しかしながら、今年に入り感染再拡大に伴う二度目の緊急事態宣言が発出され、経済活動の制限が続く中で感染の抑制が進まなければ期間の延長も憂慮され、今後の景気動向にはますます不透明感が出ています。

このような状況の中、当社グループ紡績部門におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、主力商材で原系販売の約6割強を占める空系の売上高が回復せず、受注が戻らない状況が続いています。また、タイ販売子会社でも同様の状態が続いており、空系に加え環境に配慮したオーガニックコットンやボタニカルダイ等の販路拡大に努めておりますが、厳しい状況からは脱却出来ていません。この結果、当第3四半期連結累計期間につきましては、同部門の売上高は13億41百万円となり、前年同期比8億9百万円(37.6%)の減収となりました。

テキスタイル・製品部門におきましては、紡績部門と同様、新型コロナウイルス感染症による影響で店頭の販売が芳しくなく、新しい企画・発注が出てこない状態で都心型アパレルSPA主体に苦戦が目立ち、今後は昨年の緊急事態宣言と同様に店頭の閉鎖・時短営業に伴う受注減少が懸念されます。同部門の売上高は7億89百万円となり、前年同期比2億67百万円(25.3%)の減収となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は21億30百万円(前年同期比10億77百万円の減少)となりました。利益面におきましては、紡績部門及びテキスタイル・製品部門における売上高の低迷が大きく、営業損失は1億93百万円(前年同期は営業損失42百万円)、また、営業外収入に国内子会社の新型コロナウイルス感染症の影響に伴う助成金収入として雇用調整助成金40百万円等、営業外費用にその人件費部分として雇用調整に係る労務費33百万円等の計上により、経常損失は1億83百万円(前年同期は経常損失38百万円)となりました。法人税、住民税及び事業税ならびに法人税等調整額等計0百万円を計上しました結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億83百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失30百万円)となりました。

また、財務面におきましては、一部資金需要の集中もあり、有利子負債は2億91百万円となり、前連結会計年度末比で1億円の増加となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末比2億57百万円減の39億円となりました。これは主として売上債権、たな卸資産の減少等によるものです。負債につきましては、前連結会計年度末比25百万円減の15億92百万円となりました。これは主として仕入債務の減少等によるものです。純資産につきましては、前連結会計年度末比2億32百万円減の23億7百万円となりました。これは主として利益剰余金の減少等によるものです。この結果、自己資本比率は59.0%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は18百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	3,900,000
計	3,900,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (2020年12月25日)	提出日現在発行数(株) (2021年2月5日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	1,959,800	1,959,800	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	1,959,800	1,959,800	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高(千円)
2020年9月26日～ 2020年12月25日	-	1,959,800	-	731,404	-	-

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2020年9月25日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年9月25日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 4,200	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 1,949,100	19,491	-
単元未満株式	普通株式 6,500	-	1 単元（100株）未満の株式
発行済株式総数	1,959,800	-	-
総株主の議決権	-	19,491	-

（注）「完全議決権株式（その他）」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が2百株（議決権2個）含まれております。

【自己株式等】

2020年9月25日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
新内外綿(株)	大阪市中央区備後町三丁目2番6号	4,200	-	4,200	0.21
計	-	4,200	-	4,200	0.21

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2020年9月26日から2020年12月25日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年3月26日から2020年12月25日まで）に係る四半期連結財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月25日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月25日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	173,675	233,932
受取手形及び売掛金	701,006	581,575
電子記録債権	30,385	22,293
商品及び製品	631,183	494,518
仕掛品	93,502	51,483
原材料及び貯蔵品	256,884	260,883
その他	25,254	28,832
貸倒引当金	268	243
流動資産合計	1,911,623	1,673,275
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,930,231	1,930,231
減価償却累計額	1,694,507	1,711,759
建物及び構築物（純額）	235,724	218,472
機械装置及び運搬具	1,688,602	1,684,633
減価償却累計額	1,613,795	1,626,882
機械装置及び運搬具（純額）	74,806	57,750
土地	1,702,657	1,702,657
建設仮勘定	200	200
その他	183,735	209,132
減価償却累計額	170,061	174,381
その他（純額）	13,674	34,750
有形固定資産合計	2,027,062	2,013,830
無形固定資産		
ソフトウェア	29,282	26,621
その他	0	0
無形固定資産合計	29,282	26,621
投資その他の資産		
投資有価証券	18,543	21,246
繰延税金資産	5,655	5,494
その他	169,018	162,753
貸倒引当金	3,200	3,200
投資その他の資産合計	190,017	186,295
固定資産合計	2,246,362	2,226,747
資産合計	4,157,986	3,900,023

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月25日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月25日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	451,243	338,345
短期借入金	190,807	291,509
未払法人税等	3,501	1,658
賞与引当金	39,252	11,761
設備関係支払手形	3,323	-
その他	75,822	85,075
流動負債合計	763,950	728,349
固定負債		
退職給付に係る負債	312,264	324,553
繰延税金負債	3,139	2,993
再評価に係る繰延税金負債	520,502	520,502
その他	17,700	15,700
固定負債合計	853,606	863,749
負債合計	1,617,557	1,592,099
純資産の部		
株主資本		
資本金	731,404	731,404
利益剰余金	594,644	382,081
自己株式	4,171	4,171
株主資本合計	1,321,876	1,109,314
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,923	5,194
繰延ヘッジ損益	39	46
土地再評価差額金	1,181,598	1,181,598
為替換算調整勘定	25,738	5,189
その他の包括利益累計額合計	1,211,300	1,192,028
非支配株主持分	7,252	6,581
純資産合計	2,540,428	2,307,924
負債純資産合計	4,157,986	3,900,023

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 3 四半期連結累計期間】

(単位 : 千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2019年 3 月26日 至 2019年12月25日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2020年 3 月26日 至 2020年12月25日)
売上高	3,208,345	2,130,531
売上原価	2,670,628	1,835,585
売上総利益	537,716	294,946
販売費及び一般管理費	580,120	488,269
営業損失 ()	42,403	193,323
営業外収益		
受取利息	682	310
受取配当金	572	501
受取手数料	4,817	1,924
雇用調整助成金	-	40,125
その他	3,712	8,933
営業外収益合計	9,785	51,795
営業外費用		
支払利息	2,311	2,670
手形売却損	1,357	1,516
為替差損	2,271	3,281
貸倒損失	-	652
雇用調整に係る労務費	-	33,162
その他	82	632
営業外費用合計	6,023	41,916
経常損失 ()	38,640	183,443
特別利益		
固定資産売却益	1,396	-
特別利益合計	1,396	-
特別損失		
固定資産除売却損	1,392	100
特別損失合計	1,392	100
税金等調整前四半期純損失 ()	38,636	183,544
法人税、住民税及び事業税	3,842	722
法人税等調整額	12,795	893
法人税等合計	8,953	171
四半期純損失 ()	29,683	183,373
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失 ()	879	143
親会社株主に帰属する四半期純損失 ()	30,563	183,229

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月26日 至 2019年12月25日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月26日 至 2020年12月25日)
四半期純損失()	29,683	183,373
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	970	1,270
繰延ヘッジ損益	52	6
為替換算調整勘定	8,819	21,075
その他の包括利益合計	7,901	19,798
四半期包括利益	21,781	203,172
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,882	202,501
非支配株主に係る四半期包括利益	1,100	670

【注記事項】

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理）

該当事項はありません。

（追加情報）

該当事項はありません。

（四半期連結貸借対照表関係）

該当事項はありません。

（四半期連結損益計算書関係）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年3月26日 至 2019年12月25日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年3月26日 至 2020年12月25日）
減価償却費	41,894千円	46,117千円

（株主資本等関係）

前第3四半期連結累計期間（自 2019年3月26日 至 2019年12月25日）

1. 配当に関する事項

（1）配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額 （千円）	1株当たり 配当額 （円）	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月21日 定時株主総会	普通株式	39,111	20	2019年3月25日	2019年6月24日	利益剰余金

（2）基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第3四半期連結累計期間（自 2020年3月26日 至 2020年12月25日）

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額 （千円）	1株当たり 配当額 （円）	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年6月19日 定時株主総会	普通株式	29,332	15	2020年3月25日	2020年6月22日	利益剰余金

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社グループは、繊維事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年3月26日 至 2019年12月25日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年3月26日 至 2020年12月25日）
1株当たり四半期純損失（ ）	15円63銭	93円70銭
（算定上の基礎）		
親会社株主に帰属する四半期純損失（ ） （千円）	30,563	183,229
普通株主に帰属しない金額（千円）	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 損失（ ）（千円）	30,563	183,229
普通株式の期中平均株式数（株）	1,955,562	1,955,511

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2021年2月5日

新内外綿株式会社

取締役会 御中

P w C あらた有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山上 真人 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 北野 和行 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている新内外綿株式会社の2020年3月26日から2021年3月25日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2020年9月26日から2020年12月25日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年3月26日から2020年12月25日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、新内外綿株式会社及び連結子会社の2020年12月25日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）1．上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2．X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。